

RYOBI®

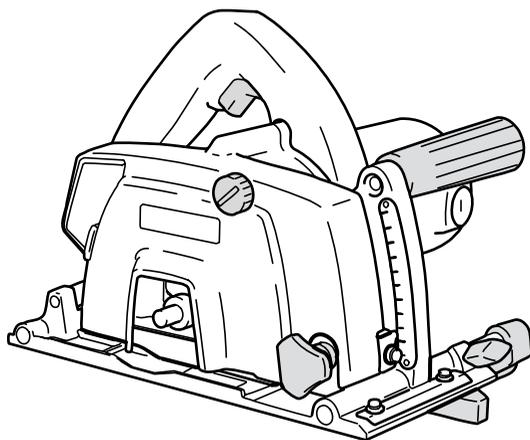
小型ミゾホリ (フレーキ付)

V-2101AS

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1 ~ 4
- ・各部の名称・仕様 5
- ・付属品・用途・別販売品 5
- ・操作方法 6 ~ 10
- ・保守と点検 10 ~ 11

このたびは、小型ミゾホリをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理に使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
11. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

小型ミゾホリご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、小型ミゾホリをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

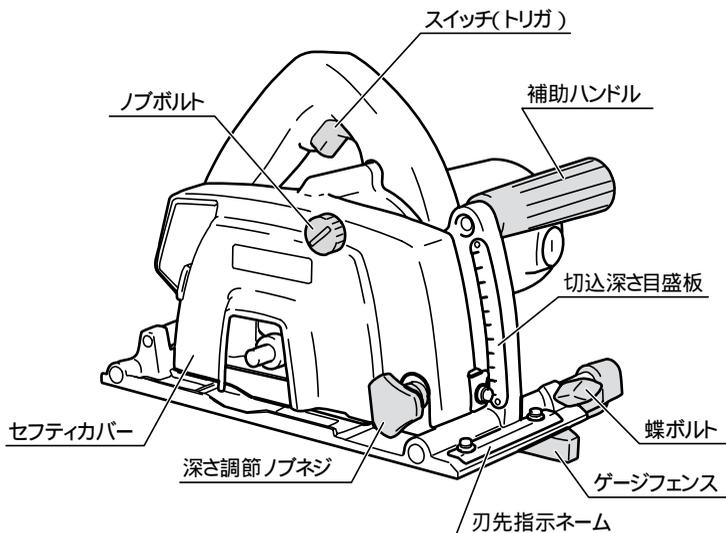
警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、前後のハンドルを両手で確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. 反発力に注意してください。
 - ・急な切込みは強い反発力が生じ、けがの原因になります。本体を確実に保持し、ゆっくりと切り始めてください。
 - ・切削途中でカッタを回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
5. 使用中は、カッタ及び可動部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはヨービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

注意

1. カッタや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. カッタにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・カッタが破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にカッタを向けて空転させ、機体などの異常振動がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・機体を落したり、けがの原因になります。
6. 材料に釘など異物がいないことを確認してください。
 - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切削しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。

各部の名称



仕様

- ・電源・・・・・・・・・・・・・・・・ 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・電流・・・・・・・・・・・・・・・・ 11A
- ・消費電力・・・・・・・・・・・・・・ 1,050W
- ・無負荷回転数・・・・・・・・・・・・ (n₀)8,500min.⁻¹
- ・カット幅・・・・・・・・・・・・・・ 3 ~ 21mm
- ・切込深さ・・・・・・・・・・・・・・ 0 ~ 25mm
(注)幅15mm以上のカットをご使用の場合、一度の切込深さは9mm以下にしてください。
- ・標準カット径(内径×外径)・・・・・・・・ 15 × 120mm
(注)外径125mmまでのカットは取付可能です。
ただし最大切込深さは25mmまでとしてください。
- ・質量・・・・・・・・・・・・・・・・ 4.3kg

付属品

- ・片口スパナ 17mm・・・・・・・・ 1
- ・スペーサー・・・・・・・・ 1
- ・両口スパナ 17 × 19mm・・・・ 1
- ・ゲージフェンス・・・・・・・・ 1
- ・補助ハンドル・・・・・・・・ 1

別販売品

- ケビキ付カット(外径120mm)
- 3mm・3.9mm・4.5mm・5.5mm・6mm・7.5mm・
9mm・10.5mm・12mm・15mm・18mm・21mm

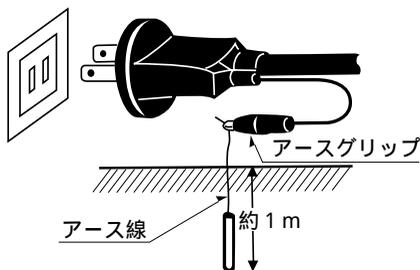
用途

- ・木材の溝ホリ作業

操作方法

アースについて

- ・ 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・ アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・ アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。

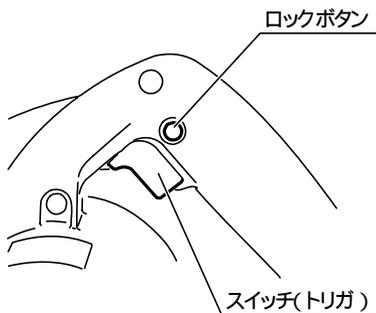


スイッチの扱い方

⚠ 警告

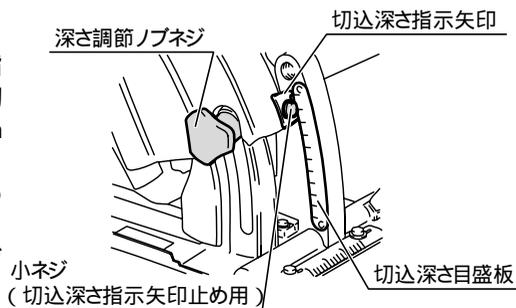
- ・ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ・ 本機はスイッチを切るとカッタがすばやく停止するブレーキ付となっております。
- ・ スイッチは引き金方式です。トリガを引くと入り、離すと切れます。
- ・ 連続使用の場合は、トリガを引いた状態で握り部側面にあるロックボタンを押すと、トリガから指を離してもスイッチは入ったままになります。解除は、再度トリガを引いてロックボタンを戻し、トリガから指を離してください。



切込深さの調節

- ・切込深さ目盛板を基準にし、切込深さ指示矢印が0位置を指している時、カッタ切込深さは0です。（目盛板の1目盛は3mmです。）
- ・切込深さは、深さ調節ノブネジをゆるめ定盤を上下させ調節します。
- ・目盛を合わせましたら深さ調節ノブネジをしっかりと締付けてください。



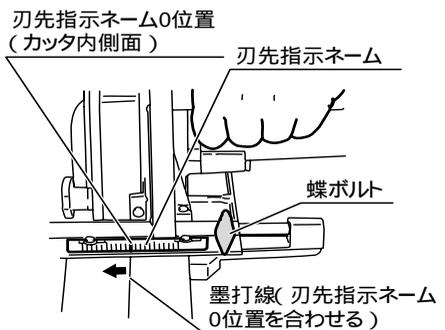
（カッタが摩耗した場合、および外径120mm以外のカッタの場合）

- ・カッタを手で回し、カッタの刃先が定盤の裏面に一致する位置（実際の切込深さ0位置）に、深さ調節ノブネジで切込深さを固定します。
- ・切込深さ指示矢印を止めているネジをゆるめ、切込深さ目盛板0位置に合わせて固定してください。

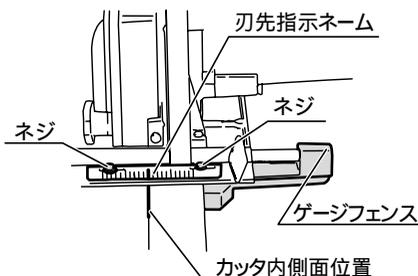


切込み位置

- ・カッタの内側面に刃先指示ネームの0位置が合わせてあります。墨打線に刃先指示ネームの0位置を合わせれば、0位置よりカバー側（イラストの←印側）がカッタ幅で切削できます。（刃先指示ネームの1目盛は3mmです。）

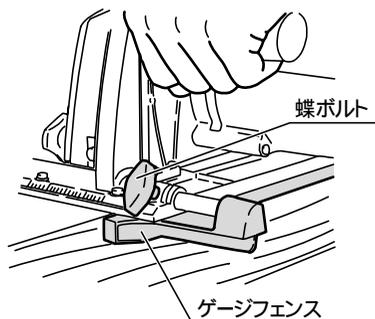


- ・カッタが摩耗した場合は、刃先指示ネームを止めている左右のネジをゆるめ、刃先指示ネームの0位置をカッタの内側面に合わせてください。
- ・幅の一定した材料・定規などをカッタとゲージフェンスではさみますと簡単にカッタ内側面の位置を確認できます。



ゲージフェンス

- ・ゲージフェンスは前後の蝶ボルトをゆるめれば移動できます。
- ・墨打線に刃先指示ネームの目盛を合わせ、ゲージフェンスを材料側面に当て蝶ボルトで固定してください。
- ・ゲージフェンスを木材側面に軽く押し当て、沿わせて加工すればまっすぐな溝ホリ加工ができます。



切削作業

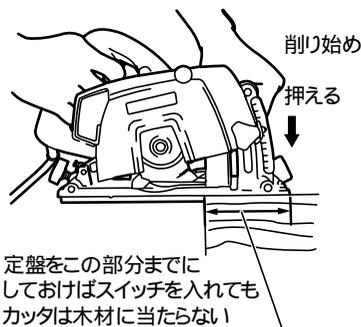
⚠ 警告

- ・使用中は、前後のハンドルを両手で確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。台が不安定ですと、けがの原因になります。
- ・反発力に注意してください。急な切込みは強い反発力が生じ、けがの原因になります。本体を確実に保持し、ゆっくりと切り始めてください。
- ・切削途中でカッタを回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。

⚠ 注意

- ・作業前に、人のいない方向にカッタを向けて空転させ、機体などの異常振動がないことを確認してください。異常があるとけがの原因になります。

- ・定盤を木材の上のせ、カッタが木材に触れない状態でスイッチを入れます。カッタの回転が一定になりましたら削り始めてください。
- ・送り速さは木材の硬軟、加工寸法などにより異なりますが、いずれの場合も送り速さを一定に保つことが大切です。
- ・乾いた木材や、木目により溝の縁が欠けるおそれがある場合は、送り速さをおとすか、切込深さを小さくして2～3回で削るようにするときれいに仕上がります。
- ・本体が木材の上をまっすぐ、水平に動くように加工を行なってください。特に削り始めは補助ハンドル側を押え定盤の前の方で、削り終りはスイッチハンドル側を押え定盤の後の方で水平に保つようにします。



カッタの取外し、取付け

⚠ 警告

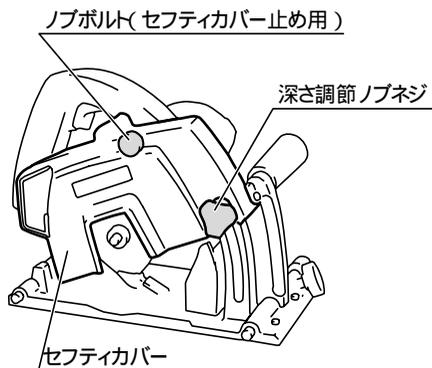
- ・カッタの取付け、取外しのときは、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・カッタは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。

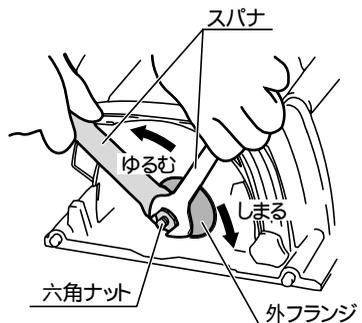
(取外し)

- ・深さ調節ノブネジをゆるめ切込深さを0位置近くにします。
- ・セフティカバーのノブボルトを外し、セフティカバーを取外します。
- ・付属品のスパナ2本を使って六角ナットを外します。スパナは19mmをフランジに、17mmを六角ナットに使います。六角ナットは左回り(時計と逆回り)でゆるみます。



(取付け)

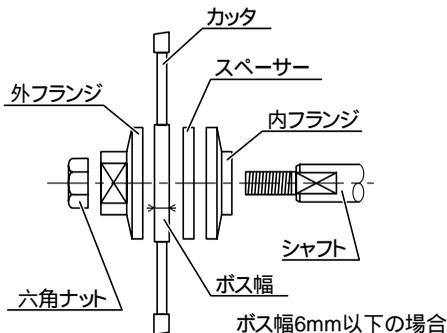
- ・カッタ、シャフト、フランジに着いている削り屑を取り、取外しと逆の要領で取付けてください。



- ・カッタのボス幅(取付部の厚み)が6mm以下の場合、取付けの際に付属品のスペーサーをご使用ください。

(右図参照)

- (注) ボス幅が6mmより厚い場合、スペーサーは不要です。



フチカケ防止板について

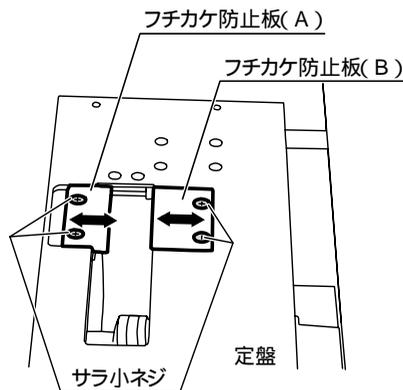
⚠ 警告

- ・フチカケ防止板の調整時には、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

定盤裏面にミゾホリ時のフチカケを防ぎ、刃口幅を調整できるフチカケ防止板(A)(B)が付いております。フチカケ防止板は出荷時には、刃口幅を最大にしてありますので、カッタ幅に合わせて調整してください。

(調整方法)

1. 本体を裏返し、フチカケ防止板(A)(B)を固定している4本のサラ小ネジをゆるめます。
2. フチカケ防止板(A)(B)を刃先に当たらない程度に調整し、サラ小ネジで固定してください。フチカケ防止板(A)を移動してもカッタ側面とのスキ間が大きい場合には、フチカケ防止板(A)(B)を付けかえて調整してください。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

各部取付ネジの点検

- ・ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

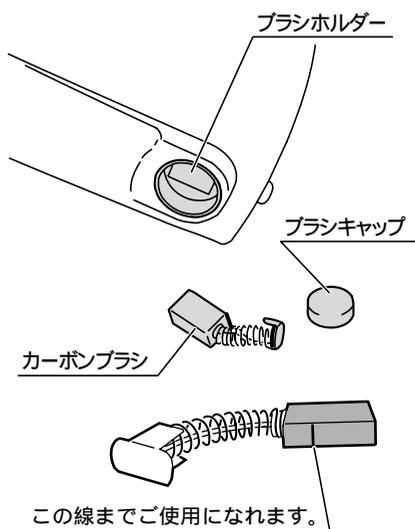
- ・油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。

作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届かないところで、落下の心配のないところで保管してください。

カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシが全長の1/3以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら、新しいカーボンブラシと交換してください。短いカーボンブラシをそのまま使用しますとモーター焼損の原因になることがあります。カーボンブラシの交換は⊖ドライバでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店にお問い合わせください。

* 改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)807-1600 FAX.(052)807-1606